観光ガイドブック　「ことりっぷ　守口めぐり」で守口の魅力を

守口市の魅力を伝え、興味を持ってもらうきっかけづくりとして、読んで魅力を感じ、誰もが手に取りたくなる観光ガイドブック「ことりっぷ　守口めぐり」を現在作成しています。

デザイン性の高い観光冊子「ことりっぷ」ブランドを活用し、これまでの観光ガイドブックにはない切り口でスポットをセレクトした、「市の魅力」となるおすすめしたい場所・歴史・カフェなどを紹介する観光ガイドブックになっています。

ことりっぷ 守口めぐり 取材風景

市内のさまざまな観光スポットやカフェなどで取材・撮影を行いました。

守口の魅力をつめこんだ

観光ガイドブック「ことりっぷ　守口めぐり」に併せて、守口市の魅力をギュッと1枚に集約し、訪れてみたくなるような「守口市PRチラシ（表裏印刷）」を作成しました。

チラシのコンセプトは、「いつまでも住み続けたいまち　守口」。

いつまでも住み続けたくなるような守口市の街をイメージしながら、観光ガイドブック「ことりっぷ　守口めぐり」の作成に協力してくれた関西大学の学生さんと魅力創造発信課が協働で製作したPRチラシです。市外にお住まいの人にも守口市の魅力を知ってもらえるように、さまざまな場面でチラシを活用していきたいと考えています。

関西大学の学生さんと一緒に作成しました！

この観光ガイドブック「ことりっぷ　守口めぐり」とＰＲチラシの作成には、官学連携の観点から協定の締結をしている関西大学と連携しました。若者の視点を取り入れようと関西大学商学部荒木ゼミの学生さんにも参加していただき、守口市の魅力を発見するため市内の街あるきを行い、意見をいただきました。

荒木ゼミの皆さんにインタビュー

今回、初めて守口市を訪れた関西大学商学部荒木ゼミの皆さんに感想などを聞いてみました。

街あるきで、特に印象に残っている場所はどこですか？

守口市立図書館です。その理由は、私が今まで行ったことのある図書館とは異なる特徴があるからです。飲食が自由にできるスペースがあるなど、滞在型の図書館となっていることや、自習室も充実していていろんな世代にとって利用しやすい図書館だと感じました。

街あるきをして、守口市の魅力はどんなところだと感じましたか？

子どもを育てる環境が整っている市だと感じました。さくら小学校を訪問した際に充実した施設に触れ、こんな学校に行きたかった！と強く思いました。また、幼児教育・保育の無償化など、教育に対する市の支援がしっかりあり、子どもにとっても親にとっても暮らしやすい魅力を持っていると感じました。

ズバリ、守口市にしかない魅力とは、何だと思いますか？

「新旧の融合」です！例えばさくら小学校は、開放的な学習スペースや、全面人工芝のグラウンドなど公立小学校とは思えないほど施設が充実しています。新しい建物がある一方で、文禄堤や佐太天神宮など歴史を感じる建物もたくさんあり、どこかほっとする雰囲気を持つ守口市だからこそ「暮らしやすさがちょうどええ♪」んだと思います！

観光ガイドブックも PRチラシも ぜひご覧ください!!

関西大学の皆さん、
ありがとうございました！

守口市でしてみたいことはありますか？

守口市の新旧を巡る観光ツアーをしてみたいです！

守口市には、新しい小学校や図書館があります。また、佐太天神宮や旧中西家住宅といった素晴らしい観光地があります。このような施設など魅力のある場所を実際にツアーとして体感してもらうことで、魅力に気づき、守口市への移住を考える方が増えることや、観光地としても活気のある市になると考えます。

PRチラシの作成にあたり、どのような工夫をしましたか？

一つ目は、幅広い世代で注目を集めているYouTubeの画面のような見た目にすることで、多くの人、特に若い人に気軽に手に取ってもらえるチラシになると考えました。二つ目は、訪問して感じたことをありのままに表現し、親しみやすい言葉遣いを用いていることです。パッと見て読みやすい印象にすることを心掛けました。

荒木先生から全体を通しての感想をお願いします。

私のゼミではさまざまな自治体や企業とプロジェクトを進めてきました。連携する対象である自治体の魅力を発見するために、現場に行き、現物に触れ、現実を知るという三現主義を基本としてきました。今回も、7月に街あるきを実施し、守口市の魅力を（再）確認しました。活動の成果であるPRチラシにより、守口市の魅力をさまざまな人たちに伝えることを期待しています。